令和８年第３回定例会
総務委員会 報告事項資料 No.１
市長政策室

# 持続可能な自治体経営に向けた「国分寺経営アクション」の始動

既存事業の徹底的な見直し（経常的事業の最適化）による持続可能な財政基盤を確立し、
時代のニーズに合った施策へ資源を配分します。

# 「背景と課題」・「基本目的」

## 背景と課題：財政の柔軟性の欠如

**当市の経常収支比率（令和７年度決算）** **95.8%（速報値）**
※理想の目安：70%～80%

- **将来支出の増加**：少子高齢化に伴う社会保障関係費の増大、公共施設の老朽化対応。
- **リソースの限界**：新たな社会課題・行政ニーズに対応するための財源・人的余力が逼迫。
- **構造改革の必要性**：単なる一過性の節減ではなく、根本からの「経営体質改善」が不可欠。

## 基本目的：住民福祉の最大化と持続可能な自治体経営

単なるコストカットや市民サービスの削減が目的ではありません。
生み出したリソースを真に必要な施策に配分します。

1. **事業見直し**
   既存の経常的事業を徹底検証
2. **資源の捻出**
   財源・人員・時間の余力を創出
3. **真に必要な施策への配分**
   ニーズの高い施策へシフト

# 経常的事業の最適化（３つの視点）

**対象：原則、各課１事業（部単位マネジメント）**

廃止・縮小

### ニーズ・意義の変化

立ち上げ当初の目的が達成された
事業や参加者減少事業

廃止・縮小

### 潜在コストの発生

人件費などの
事業費外負担が過大な事業

統合

### 類似・重複業務

集約により資源の有効活用と
相乗効果が狙える事業

# 実施スケジュール

**6月**

### 全庁調査

各部・課で
最適化対象事業を抽出

**9月**

### 市長決定

効果・影響度等を勘案し
全案件の実施可否を判断

**10月**

### 予算編成等

関係者調整・
次年度以降の予算への反映

**R9 年度～**

### 事業最適化

対象事業の進捗確認、継続的な
ブラッシュアップ・事業抽出